

2022 (R4) 年 11 月 21 日

聞き取り先
日産プリンス三重販売株式会社

聞き取り側 (ネクスト)
館あけみ 寺田卓二

家庭部門のカーボンニュートラルの推進に関する聞き取り記録

お伺いした事項

- 1, 家庭部門の CN を進めるうえで、四日市市内の戸建て住宅においては、再エネ電力の購入以上に、各家庭の創エネ (太陽光発電など) の推進が重要になると考えています。
創エネした電力の有効活用には、電気自動車の普及が一つのカギになると思いますが、家庭の創エネと電気自動車の普及について、御社のお考えを教えてください。
村上さんの体験から、太陽光パネルを付けると家庭の電気使用料に目が向き、その延長線上で電気自動車を考えていただくお客様が多い。また、電気自動車を購入したことにより、太陽光パネルの設置を考えた方もある。
- 2, 電気自動車の普及には補助金とともに (以上に) インフラ整備が必要であるとのお話を伺っています。
 - ①四日市市に対して、どのような方策でのインフラ整備を希望されますか。
公共の駐車場、例えば中央緑地の駐車場に 200v のコンセントを設置してほしい。体育館や運動施設を利用しているチームの監督さんなどが指導の間に充電できることで、電気自動車の普及が進むのではないかと。
各課からばらばらに高速充電器の設置について価格を問い合わせられることも多い。
 - ②市内の民間企業と連携したインフラ整備を進められる予定はありますか。そこに行政がかかわる余地はありますか。
残念ながら今のところない。
 - ③インフラ整備によって、市民が電気自動車の購入を進め、家庭の CN 達

成に近づくために、市民に周知したいこと、市民から市へ提案していくとよいと思わることはいくつかあります。

特段そのようなことはありません。

- 3, 既存住宅への V2H の普及について、良いお考えがあればお聞かせ下さい。

V2H の補助率が 2023 年度から改訂され、さらに良くなる

国

本体価格 80 万円 1 / 2 補助

設置費用 80 万円 全額補助 (上限あり) 40 万円で設置できる。

これに、市の補助が上乗せされる。

200v のコンセントだけ (車への充電のみ) なら 6 ~ 8 万円でできる

問題は、半導体不足を受けてニチコンの V2H の生産が追いつかない状態にある。

電気自動車の購入問い合わせは、高齢者に多い。

- 4, 自動車販売店の視点から、家庭の CN に向けて取り組むとよいと思われることはありますか。例えば他の課題 (防災や高齢化、空家など) との同時解決など

電気自動車の普及は、環境に良いということが一番に来るのではなく、災害時に強いとか電気自動車を持つとステータスになり、それが環境にもよいということで進められる。

他に

EV の充電口の基準 チャデモについて

<https://www.webcartop.jp/2021/02/660872/>

日本の自動車は、この基準で共通している。テスラ社は、アダプターが必要